

令和4年度 第3回

小規模多機能型居宅介護事業所 ほほえみ 運営推進会議

開催日：令和4年8月18日（木）

新型コロナウイルス感染症のため、書面にて開催

議題1 新型コロナウイルス感染症対策の状況

議題2 利用者の状況・サービスの提供状況

議題3 質疑応答、サービスへの助言、要望

議題4 サービス評価について

議題5 その他

次回開催日について 令和4年10月19日（木）午前10時～予定

1. 感染症対策の状況

項目	内容
 職員、利用者のコロナ感染について	<p>○7月5日に職員1名のコロナウイルス感染が判明し、保健所より7月3日に出勤していた職員とデイサービス利用していた利用者に対するPCR検査の指示を受ける。保健所より事業の縮小のお願いを受け、7月6日～8日の3日間サービスの縮小、代替サービスの提供を行った。</p> <p>7月8日19時過ぎに保健所からPCR検査を行った対象全員の陰性判定の報告を受け、当日中に利用者、その家族に電話報告。翌7月9日より通常の事業を再開した。</p> <p>○7月29日に利用者家族にコロナウイルス感染が判明し、利用者も自宅待機を命じられる。その期間は電話で体調確認を行う。</p>
通い	<p>○通常対応中</p> <p>県外から帰省者があった場合も制限なく通常利用してもらっている。帰省者に健康チェックシートの記入、毎日の検温をお願いしている。ホールのアクリルパネルの設置継続。デイサービス中のマスク着用の声掛け、食事時の黙食の促しも継続して実施中。</p>
泊り、訪問	○ 通常対応中
入館制限	○ 玄関で相談、面会を行っているが、希望時は消毒、マスク着用で入館してもらっている。
人員体制	○ 現在18名配置 コロナウイルスによる自宅待機の関係で職員が出勤できない日があったが、勤務調整を行い対応。
職員の対応	○ 自宅での検温、体調管理アプリ「LEBER」の入力、管理者による確認、マスク着用、行動記録作成
業者の入館	○ 玄関で体温測定後に消毒、マスク着用して入館
備品の状況	<p>○ マスク・消毒液・手袋 → 備蓄あり</p> <p>○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり</p> <p>利用自粛している期間は利用者宅に予防衣、フェイスシールド、マスク、手袋を着用し訪問を行った。</p> <p>➡使用した備品は発注を行った。</p>

2. 利用者の状況

(月末時点 解約者除く)

		6月		7月	
登録数		25名		24名	
		男性	女性	男性	女性
		3	22	3	21
利用者の増減		<u>利用終了</u> 6/30 要介護4 <u>新規利用</u> 6/6 要介護3		<u>利用終了</u> 7/7 要介護3 <u>新規利用</u>	
要介護度の変更					
介護度	要介護5	1		1	
	要介護4	3		3	
	要介護3	5		4	
	要介護2	4		4	
	要介護1	12		12	
	要支援2	0		0	
	要支援1	0		0	
	申請中	0		0	
年齢構成	平均年齢	87.5歳		88.1歳	
	95歳以上	3		3	
	85～95歳	13		12	
	75～85歳	7		7	
	65～75歳	2		2	
	65歳未満	0		0	
家族状況	家族同居	10		10	
	家族近隣在住	0		0	
	家族毎月帰省	0		0	
	高齢者世帯	2		2	
	独居	13		12	
地域	仁摩町	18		18	
	温泉津町	5		4	
	大森町	0		0	
	五十猛町	2		2	

個人別平均サービス提供状況

	人数	性別	介護度	6月	7月	家族有無	TEL 安否確認	申込 状況	備考
				平均回数					
	1	女性	2	13.30	12.19	独居			
	2	女性	4	7.93	6.55	○			
	3	男性	1	1.87	1.81	○			
	4	女性	3	13.77	11.00	独居		特養	~7/7まで利用
	5	女性	2	14.23	14.45	独居		特養	
	6	男性	4	4.90	4.74	高齢世帯			
	7	女性	2	6.77	5.42	○			
	8	男性	1	13.77	14.00	独居			
	9	女性	2	16.10	14.68	独居			
	10	女性	1	9.10	9.48	独居		GH	
	11	女性	1	17.03	16.48	独居			
	12	女性	1	13.07	14.68	独居			
	13	女性	1	2.10	2.26	独居	○	軽費	
	14	女性	3	14.00	12.65	高齢世帯			
	15	女性	3	4.20	4.29	○			
	16	女性	2	11.67	11.74	独居			
	17	女性	3	14.00	14.00	○			
	18	女性	1	4.90	1.81	独居			
	19	女性	1	10.97	11.06	独居			
	20	女性	4	4.90	利用無	○			6/11~30利用
	21	女性	5	5.13	5.87	○			
	22	女性	4	7.23	6.10	○		特養	
	23	女性	3	6.77	4.74	○		GH	
	24	女性	2	5.37	5.42	○			
	25	女性	1	3.97	2.94	○			
	26	女性	1	13.30	15.35	独居			

		6月	7月
サービス提供量 介護+予防	通いのべ人数/月	425回 (14.1人/日)	403回 (13.0人/日)
	宿泊のべ人数/月	148回 (4.7人/日)	168回 (5.4人/日)
	訪問のべ回数/月	440回 (14.6人/回)	382回 (12.3人/回)
	のべ利用回数/月	1013回	953回
	のべ提供日数/月 (入院日数除く)	765日	751日
	登録者一人当たり の平均利用回数	一人あたり 9.27回/週	一人あたり 8.88/週
長期宿泊者(毎日宿泊)		4名	4名
過少サービス(週4回未満)		3名	4名

長期宿泊および過少サービス該当の利用者様のご意向および生活状況について

	前回 報告	サービス 提供状況	介護 度	安 否 確 認	生活状況
3	○	デイ2回/週	1		処方された下剤を飲みすぎて下剤がすぐになくなってしまいが、身体状況、生活状況変化なし。通い時に他の利用者と将棋を指すのが楽しみ。 本人、妻より新たな希望なく計画継続する。
8	○	長期宿泊	1		独居の男性。3月～5月にかけて少しずつ自宅で生活していた。自宅で過ごしていると水分をとる事が少なく、食事もとらずに横になっていることが多い為、気温が高くなる6月頃より長期宿泊利用している。
9		長期宿泊	2		独居の女性。今まではデイサービスとヘルパーを利用し生活してした。認知症状が進行し、汚れた衣類をタンスにしまってしまう、上着を下着代わりに着てしまうと言った様子が見られるようになる。一人で生活していると水分摂取も少ない為、長期宿泊を利用するようになった。
13	○	デイ 2.5回/週	2	○	自宅で趣味の手芸などをして過ごしている。自宅での生活の継続を希望しておられるが、自宅で転倒したという話をするが増え、デイの利用回数の増加、宿泊の利用など相談を行っている。
14	○	長期宿泊	3		ご主人と二人暮らし。糖尿病の病歴あり、毎日糖の注射が必要。自宅に帰宅するとご主人が本人の食べたいものをお出ししてしまい、糖の数値が高くなってしまったため、ご主人と相談し長期宿泊を利用。
17		長期宿泊	3		7月より利用開始。移動は車イスを使用している。自宅での生活を希望しているが、自宅で車イス使用が難しい場所があり泊り利用している。福祉用具を利用する事で少しでも自宅で過ごせるように現在相談中。
18	○	デイ2回/週	1		独居の女性。日常の買い物などは近所の親戚の方が行っている。本人の体調不良の時、親戚の方が体調不良の時はデイサービス、訪問を増やしている。
25		デイ3回/週	1		娘様と同居生活。娘様の体調が優れない時はデイサービスの利用日を増やしている。

3. サービスの提供状況（6月・7月）

B. しつらえ・環境

（1）室温・換気・湿度

エアコン設定	25～26℃ 利用者に確認し温度調整行う
換気	常時窓を開放。外気温に合わせて開放量調整
湿度	40～50% ジアイーノは引き続き使用

（2）清掃

朝礼後	次亜塩素酸ナトリウムでのテーブル、椅子、手すり消毒
昼食後	洗面台洗浄、テーブル、椅子、手すり消毒、ごみ集め
夕方	トイレ掃除、ごみ集め、ベッド消毒、椅子消毒、玄関清掃
シーツ交換	各部屋週1回交換
浴室清掃	毎日

新型コロナウイルス感染症対策の詳細 別項参照

（3）設備・機器の整備

6月1日	島根電工コンセント修理
6月10日	玄関網戸設置
7月11日	大前建設風呂脱水場床たるみ修理
7月11日	安達設備台所水道蛇口修理
7月15日	大前建設風呂場ドア修理

（4）利用空間の飾りつけ

6月25日	七夕飾り付け
6月30日	ハイビスカス切り絵飾り付け
7月3日	ひまわり壁絵作品作り
7月22日	夏祭り壁飾り作り

D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み

※利用者の生活に地域とのつながりをもつ努力があるか

(1) 医療機関受診

受診支援（予約表預かり、声掛け、医療機関調整）	17名
受診支援（通い送迎途中下車あるいは通い中）	16名
処方薬の受領、支払い代行	13名
薬の保管、配薬	9名
主治医への急変者状態報告、受診手配	4回

(2) 生活インフラ活用支援

ガス代支払い	1名	
預貯金引出	2名	
行政申請	0名	

(3) 買い物支援

食品買い物同行（通い送迎中、通い中）	11名
尿取りパット購入（配達依頼、支払い代行）	4名

(4) 地域行事参加支援

6月12日 湯里楽市を利用者2名と職員で見学

3. サービスの提供状況（6月・7月）

F. 防災・災害対策

（1）取り組み状況

消防訓練を開催予定も実施できず。9月、10月に変更し消防訓練、防災訓練を実施。
今後、豪雨時の避難についての研修を事業所ミーティングで開催予定。

地域防災訓練 開催なし

この内容はサービス評価「地域かかわりシート」の評価項目に該当しています。評価時の材料にご活用ください。

3. サービスの提供状況（6月・7月）

5. 多様な柔軟な支援

この内容はサービス評価「事業所自己評価」の評価項目の一部です。活動が運営推進会議での意見を反映しているか、自己評価の改善に繋がるか着目願います。

(1) 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？

<p>○ 預り金等による支払支援 ・ 預かり金管理 10名 支払支援の主な内容 受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入</p>
<p>○ 有料サービスとの連携 ・ 配食弁当利用中 1名</p>
<p>○ 地域サポートとの連携 ・ ご近所さんの日常的見守り 3名</p>

(2) 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？

	利用者生活情報伝達数	小規模計画見直し
6月9日	2名	2名⇒目標維持2名 目標変更0名
7月26日	3名	3名⇒目標維持3名 目標変更0名

(3) その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？

生活リハビリ（実人数・のべ回数）

洗濯干し、洗濯たたみ	19名	161回	ゴミ袋作り	3名	3回
食器拭き、食器洗い	13名	93回	お茶の葉袋詰め	0名	0回
配膳、下膳	7名	12回	作品作り	4名	10回
テーブル拭き	12名	72回	調理、おやつ作り	19名	28回
その他	11名	25回	シーツ交換	4名	6回

8. 質を向上するための取り組み

この内容はサービス評価「事業所自己評価」の評価項目の一部です。活動が運営推進会議での意見を反映しているか、自己評価の改善に繋がるか着目願います。

(4) リスクマネジメントに取り組んでいますか

6月4日 10:50 泊り利用していた利用者の荷物チェックを行っていた時、預かっている薬カレンダーを確認すると6月3日の眠前薬が残っていた。

対策 薬カレンダーの残薬を確認する。

6月19日 23:00 居室より出てこられ、リビングのトイレに行こうとされる。テレビ前のソファの下にじゅうたんを敷いており、そのじゅうたんの上を歩こうとされるが足が引っ掛かり転倒される。

鼻に切傷、出血もあり。左前腕に2cm×2か所の表皮剥離、右大2手指1cm大の切り傷、出血あり

対策 じゅうたんの下がワックスで滑りやすい為じゅうたんを敷いていた。じゅうたんの周囲の養生テープを貼り直す。

後日、じゅうたんの下を清掃しワックスで滑りやすい状態を改善できたので、じゅうたんを外した。

7月18日 16:14 夕方の送迎時間で自分のテーブルに座っていた利用者が帰られ、利用者のいる他のテーブルに歩いて移動しようとする。職員が歩行介助を行うが、約2m歩いたところでバランスを崩され、歩行介助していた職員がかばう形で転倒する。左下腿部に2か所 1.5cm×1cm大の打撲痕と皮下出血、左橈骨周囲にも2か所0.5cm×0.5cmの打撲痕と皮下出血見られる。

対策 普段は車イス使用し、数メートルの短い距離のみ手引き歩行を行っていた。しかし、歩くときはふらつきが見られることが多い為、車イスを使用するようにする。本人の近くに車イスを置く。

9. 人権・プライバシー

この内容はサービス評価「事業所自己評価」の評価項目の一部です。活動が運営推進会議での意見を反映しているか、自己評価の改善に繋がるか着目願います。

(1) 身体拘束をしていない

該当する行為なし 検討を要する利用者なし

(2) 虐待は行われていない (虐待の有無)

養護者による虐待発見なし

ご意見等